



皆様のおかげで松山乳児院機関紙は、この度

創刊から **50 年目** を



迎えることができました。



長年に渡り、ご愛読ありがとうございます。

これからもよろしくお願ひいたします。



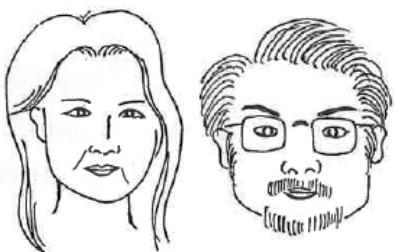
「松山乳児院機関紙発行
五〇周年に際して
理事長 村上 出
院長 村上 真實

五〇年前、機関紙を発行するきっかけとなつたのは、悲しい子どもたちの事件でした。相次いで、松山で赤ちゃんの遺棄事件が発生したのです。その遺棄された場所は柿の木の下であつたり、川の土手であつたり、夜間の乳児院の玄関内、また、駐車していた車の助手席であつたり。一つ間違えればそのまま死亡していくもおかしくないケースでした。出産された親御さんの事情でやむを得ない遺棄であつたかもしれません。乳幼児の養育の仕事にたずさわる者としては見過ごしにできない出来事でした。出産したものの養育できない、困つてゐる人たちに手を差し伸べたいという思いから、代わつて養育できる場所があるので広くお知らせしなければと思い立ちました。

五〇年前、機関紙を発行するきっかけとなつたのは、悲しい子どもたちの事件でした。相次いで、松山で赤ちゃんの遺棄事件が発生したのです。その遺棄された場所は柿の木の下であつたり、川の土手であつたり、夜間の乳児院の玄関内、また、駐車していた車の助手席であつたり。一つ間違えればそのまま死亡していくもおかしくないケースでした。出産された親御さんの事情でやむを得ない遺棄であつたかもしれません。乳幼児の養育の仕事にたずさわる者としては見過ごしにできない出来事でした。出産したものの養育できない、困つてゐる人たちに手を差し伸べたいという思いから、代わつて養育できる場所があるので広くお知らせしなければと思い立ちました。



乳児院がどのようにして乳幼児養育の働きをしているのか、乳児院で育つ子どもたちがどんな様子なのか。そのことを知つて、安心して託していただけるようにと機関紙発行を始めました。それから早、五〇年の歳月が流れたことに驚きます。私共の思いは変わりません。一人でも多くの子どもたちが、どんな状況の中でもその命を守られ、健やかに育たれることを願い続けております。



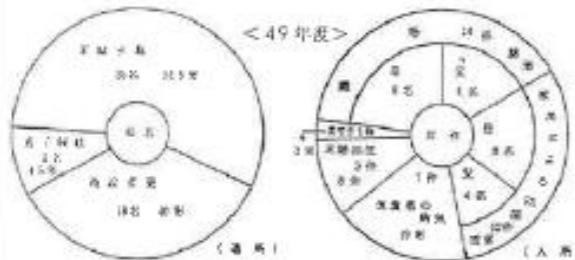
1997 年 12 月発行
第 61 号より



創立 30 周年記念号より

昭和50年（1975年）12月1日創刊

- ・当時は4月、8月、12月の年3回発行
- ・満2歳までの乳幼児を養育
- ・3名の身体障害児が在籍（水頭症・精神薄弱てんかん・脳性マヒ）



1976

- ・食堂兼遊戯室・宿泊室
- ・仕込み・調理室・勤務者専用更衣室の増改築完成（旧舎）



- ・愛媛大学 ことばの発達調査に協力
- ・老人ホームガリラヤ荘訪問



1977

- ・「Sちゃんの機能訓練」水頭症術後の機能訓練を紹介（第4～7号に連載）
- ・7/12～21NHK四国本部玄関ロビーにて松山乳児院の記録写真展開催報告
- ・脳性マヒ・間代性てんかん発作のあるAちゃんの機能訓練（第9～14号に連載）



1979

- 昭和54年度 脳外疾患実施内容

疾 患	数 (名)	内因性子しむ人	外因性	合 计	日 本
脳外疾患	11名	1名	10名	11名	11名
水頭症	6名	6名	0名	6名	6名
脳性マヒ	2名	2名	0名	2名	2名
間代性てんかん	3名	3名	0名	3名	3名
その他	1名	1名	0名	1名	1名
合計	11名	1名	10名	11名	11名

- ・愛媛信用金庫社会奉仕部の方々による「1日パパさん」報告（年2回実施）

- ・松山東ロータリークラブのご協力により幼児用水洗トイレと門を設置

・面会ボランティア紹介

面会のない子どもにも週1回面会に来ていただくボランティア

・子どもたちの生活紹介

ちゅうりっぷ組…生後数日～10ヶ月

さくら組…11ヶ月～1歳4か月

たんぽぽ組…1歳5か月～2歳

ひまわり組…2歳以上

・三島神社へ親子遠足（ちゅうりっぷ組）院外保育の様子

・創立30周年記念号

1984・疥癬顔末記 8月発症・11月原因判明・1月全員完治

～機関紙で振り返る

1985 (40年前)	・虐待児増加傾向 ・愛着行動の認識 ・高校生・大学生保育実習 ・愛のスキンシップ体操実施 ・措置児の減少 →一定員40に対し20名程度 ・洗濯機特集 →ママちゃんたちが1か月又は半年交代で担当		ある1日の洗濯物 おむつ 380枚 おむつかバー22枚 バスタオル 20枚 タオル 14枚 シーツ 10枚 タオルケット11枚 その他 173枚
1986	・お別れ遠足の実施 ・2クラス制 →ちゅうりっぷ 0～1歳2ヶ月 ひまわり 1～2歳児		
1987	・子どもたちの日 野外パーティ (おやつ会) 実施		
1988	・松大SRC主催春の遠足 梅津寺へ		
1989	・嘱託医の検診は月1回、バルサン消毒年3回 ・年2回の介護度調査開始 ・乳児院の外壁に、松大SRCによる「壁の中の動物たち」制作		
1990	・イラク戦争始まる ・台風19号瀬戸内海を通過 →ボイラーの煙突が飛び、桐の木が倒れる被害		
1991	・夜間紙おむつの使用開始		
1992	・セクション紹介 (給食部) →		
1993	・夜勤1人体制子ども20人 ・労働時間週42時間に ・親子遠足のようす		
1994	・創立40周年特集 ・運動会に近隣の3歳未満児参加 ・育児体験実習募集 ・育児体験実習開始 ・郵便料金の値上げに伴い機関紙年2回発行へ ・労働時間週40時間に ・週休2日制の導入 ・松山大湯水 夏の間24時間断水続く		

乳児院50年～

1995 (30年前)	・ママちゃんたちのアイデア紹介 ママたちのアイデア (トーナメント)		2005 (20年前)	・3、4歳児の養育開始 ・ショートストイ、ドロップストイの受け入れ開始 ・子どもたちの日常生活紹介
1996			2006	・お泊り保育報告
1997	・院長交替：大崎俊博先生 から村上眞實先生へ		2007	・手をつなぐ子らのつどいに参加
1998	・インフルエンザ予防接種開始 ・夜勤2人体制に		2008	・AEDと緊急地震速報装置導入 ・機関紙、白黒からカラーに
1999	・「保母」から「保育士」へ ・月1回の職員学習会開始		2009	・新型インフルエンザ発生 ・ボランティア活動紹介
2000	・育児体験実習紹介 ・介護等体験開始 ・保護者宛に「おおきくなあれ」 発行開始 ・家庭支援専門相談員配置 ・子育て電話相談開設		2010	・家庭支援専門相談員2名体制に
2001	・芸予地震発生 ・ホームページ開設 ・大阪児童殺傷事件を受けて警備業務委託締結		2011	・東日本大震災発生 ・ちゅうりっぷクラスの1日紹介 ・双海でお泊り会
2002	・「看護婦」から「看護師」へ ・松山大学SRCの お兄さんお姉さんと ひまわりクラスで 鹿島へ秋の遠足		2012	・ひまわりクラスの1日紹介 ・個別保育紹介
2003	・改築のため、 松山塔跡愛の 家のグラウンドに 設けた仮設で生活		2013	・介護度調査紹介 ・中四国乳児院研究協議会愛媛県で開催
2004	・乳児院の改築完成（現在の本館）		2014	・法人内研修開始 ・SRCボランティア活動紹介 ・法人内研修開始

2015 (10年前)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別保育・お泊り保育紹介 			2021	<ul style="list-style-type: none"> ・2年ぶりの動物園 	
2016	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震発生 			2022	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児の通園開始 	
2017	<ul style="list-style-type: none"> ・義経ボランティアの「緑寿会」さんに感謝のプレゼント 			2023	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫新設 	
2018	<ul style="list-style-type: none"> ・「はぐくみの家」開設 			2024	<ul style="list-style-type: none"> ・はぐくみの家増改築完成 	
2019	<ul style="list-style-type: none"> ・2~4歳の年長児がにじ、かぜ、ゆきの3ホームで生活を始める 			2025	<ul style="list-style-type: none"> ・全面小規模化を実現 	
2020	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる外出制限始まる 			2026	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保護専用施設を開設 	
2021	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限りの院内活動の充実を模索 			2027	<ul style="list-style-type: none"> ・院内幼稚園「ひまわり園」開園 	
2022				2028	<ul style="list-style-type: none"> ・介護等体験・実習生・ボランティア再開 	
2023				2029	<ul style="list-style-type: none"> ・里親支援センター「エフスク」開設 	
2024				2030	<ul style="list-style-type: none"> ・松山市児童育成支援拠点事業「コインアカラ」開設 	
2025				2031		
2026				2032		
2027				2033		
2028				2034		
2029				2035		
2030				2036		
2031				2037		
2032				2038		
2033				2039		
2034				2040		
2035				2041		
2036				2042		
2037				2043		
2038				2044		
2039				2045		
2040				2046		
2041				2047		
2042				2048		
2043				2049		
2044				2050		
2045				2051		
2046				2052		
2047				2053		
2048				2054		
2049				2055		
2050				2056		
2051				2057		
2052				2058		
2053				2059		
2054				2060		
2055				2061		
2056				2062		
2057				2063		
2058				2064		
2059				2065		
2060				2066		
2061				2067		
2062				2068		
2063				2069		
2064				2070		
2065				2071		
2066				2072		
2067				2073		
2068				2074		
2069				2075		
2070				2076		
2071				2077		
2072				2078		
2073				2079		
2074						

そして2025年度 守り抜けたい子どもたちの日常

今回、五〇年に渡つて発行された機関紙を振り返つて、いかに多くの人々に支えられて、今の乳児院があるのかを知ることができました。また、それぞれの時代で、いかに感染症と戦い、子どもたちの最善を模索してきたかも垣間見事ができました。これからも、様々な事情で乳児院に入所せざるを得ない子どもたちに、少しでも愛情に溢れ、満たされた気持ちを持つてもらえるように、職員一同、努力していきたいと思います。

編集後記

【行事予定】
3月21日

お正月
ひなまつり

〒791-8016 発行所 松山市久万ノ台一七三
社会福祉法人 コイノニア協会 松山乳児院
電話(0八九)九二二一九七二〇